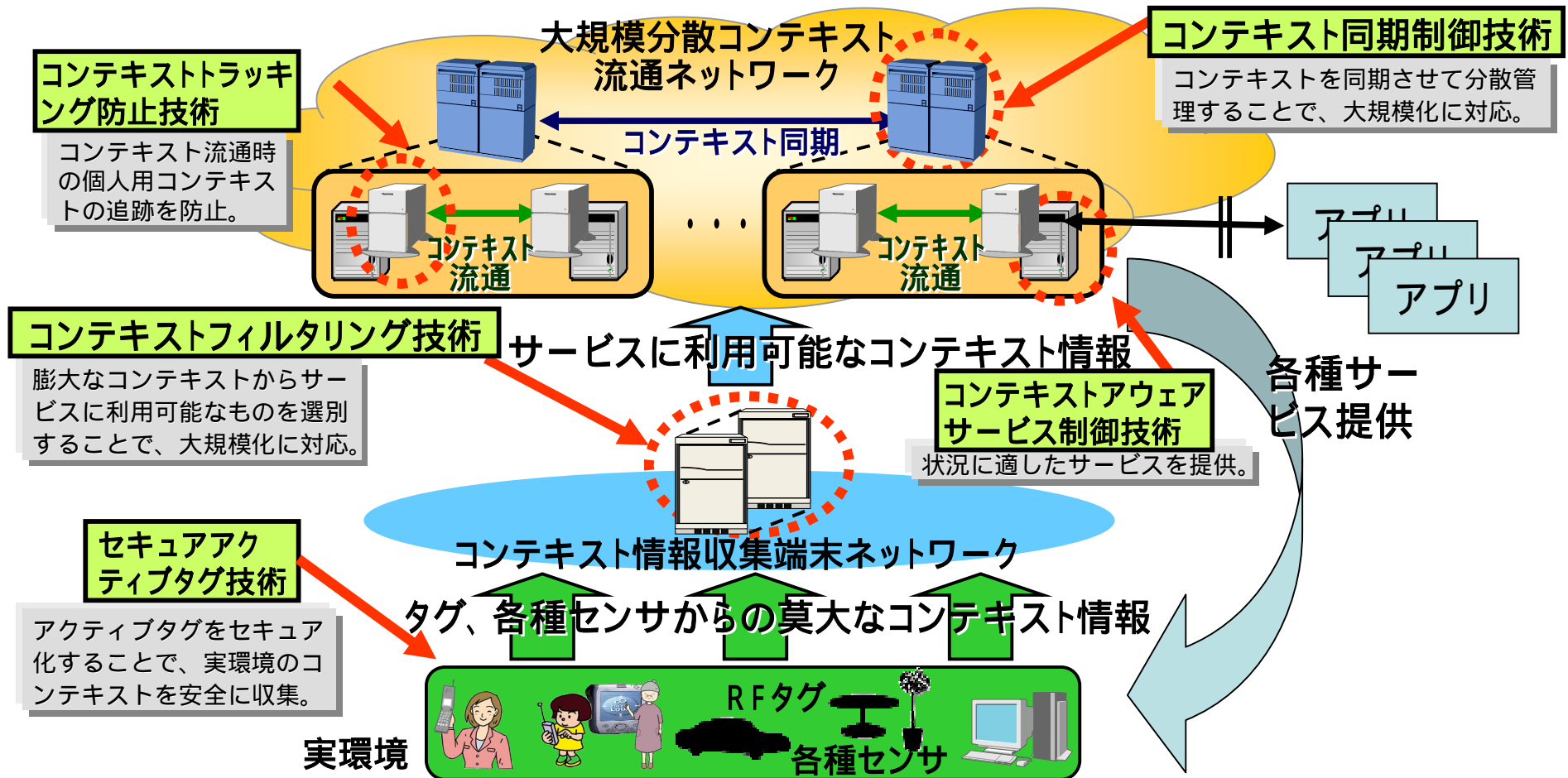


(キ) 適応的サービス制御技術

膨大なRFID、センサ、端末を収容するユビキタスネットワークにおいて、コンテキストを安全に流通させることでコンテキストアウェアなサービスを安全かつ迅速に提供

- ・ セキュリティを考慮したアクティブタグを用いたコンテキスト情報の収集
- ・ アプリに利用可能なコンテキストのみを選別
- ・ アプリ要求に応じたコンテキストキャッシュのミラーリングにより、コンテキスト管理サーバの負荷を分散
- ・ コンテキストに付与されたIDを流通時に変換することでコンテキストのトラッキングを防止



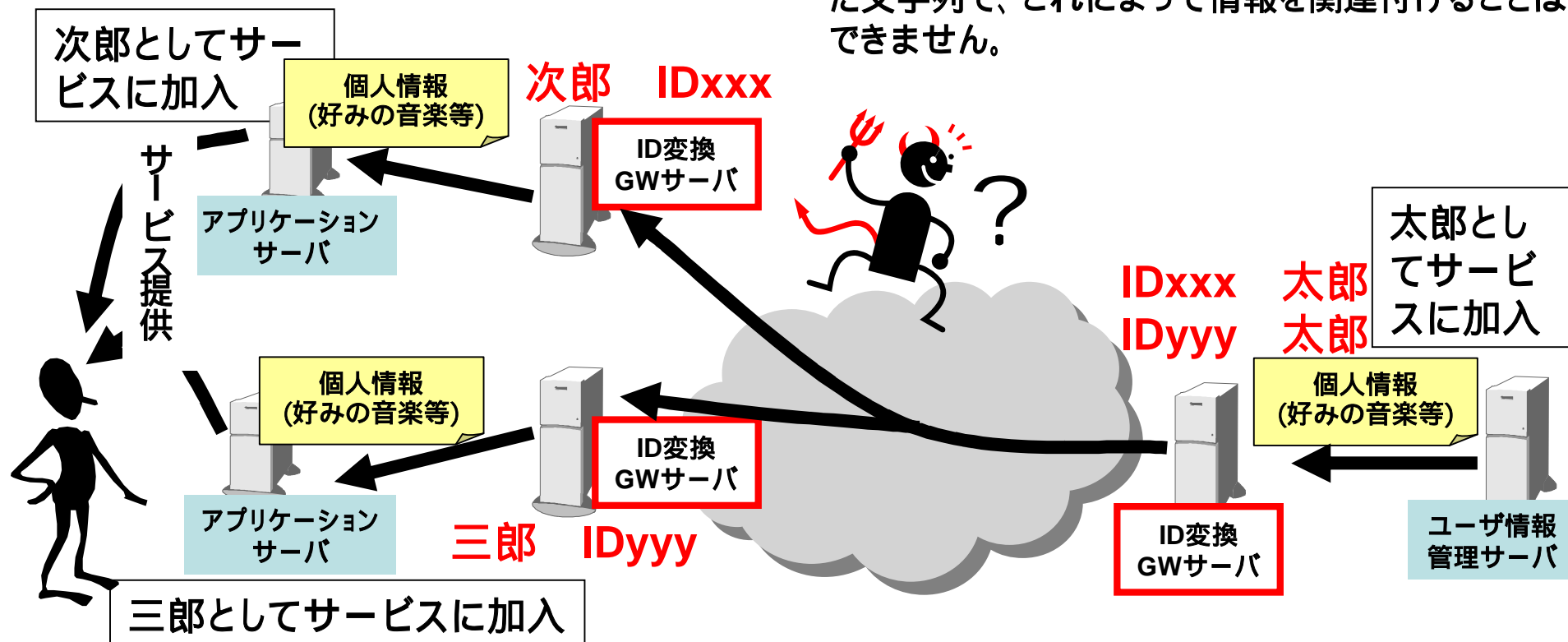
コンテキストトラッキング防止技術

概要

- ユーザは複数のサービスに個人情報を提供
- ユーザの意図しない複数の情報の関連付けを防止するため情報取得の際にGWでユーザIDを変換

特徴

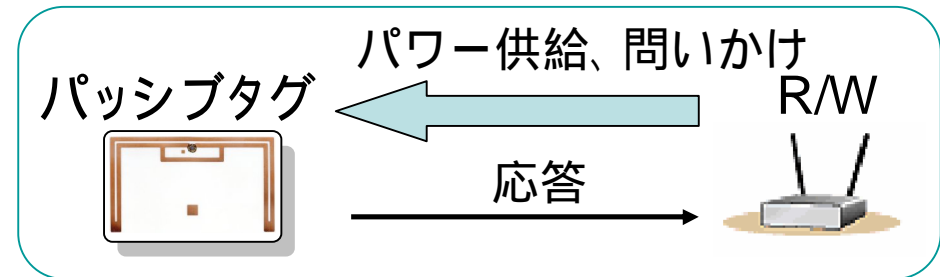
- あるサービスが持つあるユーザの情報を、個人を特定することなく他のサービスが取得することができます。
- 取得の際に用いるユーザIDは一時的に生成された文字列で、これによって情報を関連付けることはできません。



RFIDタグの特徴

• パッシブタグ

- 電池不要 → リーダライタ(R/W)からの問いかけに応答
- 通信距離が短い → R/Wに「かざす」という動作が必要
- セキュリティ: 中程度



• アクティブタグ

- 電池所持 → 自ら電波を発信
- 通信距離が長い → 自動的に検知可能
- セキュリティ: 無い / 弱い



世間のコンセンサスが得られるセキュリティ強度が必要



セキュアタグの開発

- アクティブタグのセキュア化
 - 相互認証を行う
 - タグは不用意に電波を発信しない

